

令和7年度進行管理・評価シート
白河市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月5日認定）
（最終変更 令和8年3月26日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 歴史的風致維持向上計画の推進体制	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 都市計画の活用	2
2 景観計画の活用	3
3 屋外広告物について	4
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 歴史的まちなみ修景事業	5
2 歴史的風致形成建造物保存修景事業	6
3 市道城山線整備事業	7
4 無電柱化調査事業	8
5 景観学習事業	9
6 リノベーションまちづくり推進事業	10
7 小峰城史跡整備事業	11
8 旧小峰城太鼓櫓等整備事業	12
9 小峰城清水門復元整備事業	13
10 南湖公園史跡整備事業	14
11 無形民俗文化財等記録作成事業	15
12 無形民俗文化財等活動支援事業	16
13 伝統的技術伝承事業	17
14 白河の歴史・文化再発見事業	18
15 ぐるり白河文化遺産めぐり事業	19
16 しらかわ検定事業	20
17 白河かるた普及事業	21
18 勸工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業	22
19 よみがえれ！歴史的建造物活用事業	23
20 地域伝統行事保存事業	24
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の修理(整備を含む)	25
2 文化財の保存・活用を行うための施設	26
3 文化財の防災	27
4 文化財の保存及び活用の普及・啓発	28
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	29
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	30

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
歴史的風致維持向上計画の推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

- ・まちづくり推進課を中心に、都市計画・文化財部門等と連携し、歴史的資源を活かしたまちづくりを推進する。
- ・庁内推進本部を設置し、歴史的風致の維持向上に係る取組みを調整し、円滑かつ効果的な事業推進を図る。
- ・法定協議会や各審議会などの協力により本計画の実現を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴まち計画の取り組みについて、客観的な評価や意見を受けるため、「白河市歴史的風致維持向上計画協議会」及び庁内推進本部会議を開催。

【各会議の実施状況】

- ・庁内推進本部調整会議・書面会議(令和8年1月19日～1月30日)
- ・庁内推進本部会議(令和8年2月16日)
- ・白河市歴史的風致維持向上計画協議会(令和8年3月18日)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	・複数の課に影響を及ぼす事業について、庁内の連携を図って効果的に事業を推進することが必要である。
--	--

状況を示す写真や資料等

■庁内推進本部調整会議【書面会議】

【期日】令和8年1月19日～1月30日(書面での会議)

【構成員】まちづくり推進課長、文化財課長、都市計画課長、道路河川課長、建築住宅課長、企画政策課長、財政課長、観光課長、農林整備課長、学校教育課長

【内容】

- ・歴史的風致維持向上計画重点区域の変更について
- ・令和7年度事業の進捗評価について
- ・歴史的風致維持向上計画第2期計画の中間報告について 報告し、意見を聴取した。

【意見等】なし

■庁内推進本部会議

【期日】令和8年2月16日(月)

【構成員】副市長、建設部長、市長公室長、総務部長、産業部長、教育次長

【内容】

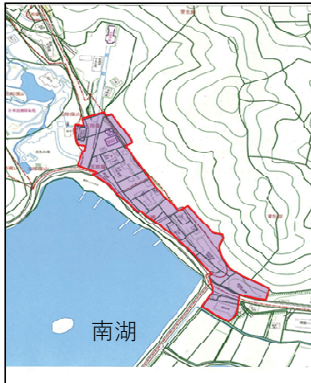


- ・歴史的風致維持向上計画重点区域の変更について
- ・令和7年度事業の進捗評価について
- ・歴史的風致維持向上計画第2期計画の中間報告について報告し、意見を聴取した。

【意見等】

- ・重点区域(南湖公園エリア)の拡張について、地区計画エリア(店舗群)も含めて今後のにぎわい創出に取り組んでほしい。
- ・よみがえれ歴史的建造物活用事業における歴史的建造物の改修では運営者目線での改修を心がけてほしい。
- ・清水門の完成もふまえて小峰城歴史館や二ノ丸茶屋とも連動しながら小峰城の価値を高め活用を図ってほしい。



【庁内推進本部会議】

評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		評価対象年度	令和7年度										
項目		現在の状況											
都市計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手											
計画に記載している内容	○本市の都市計画区域内に位置する重点区域について、都市計画を活用することにより良好な景観の形成を図る。 ○南湖北側湖畔には、全国にさきがけて歴史的風致維持向上地区計画を導入し、歴史的風致にふさわしい建築物等の整備による歴史空間を活用している。												
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で													
地区計画に併せ「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画区域内における建築物等の制限に関する条例」を制定し、建築用途や形態意匠について南湖の歴史的風致にふさわしい建築物の整備を進めている。 ○令和7年度整備件数:0件(平成29年度からの累計4件、直近R4年度甘味処鎌倉)													
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)												
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	○良好な歴史的風致を維持向上させるため、重点区域における都市計画の活用を継続する。 ○南湖公園エリアについて、南湖湖畔の店舗群を維持することが景観上重要であることから、制度の周知や民間等による空き店舗等の利用促進を図る。												
状況を示す写真や資料等													
○条例の概要 「白河市南湖湖畔店舗等に係る歴史的風致維持向上地区計画内における建築物等の制限に関する条例」													
【地区計画の範囲】		【用途の制限内容】											
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>規制内容</th> <th>地区計画導入後の規制内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建築物の用途</td> <td> ○店舗 ・料理店・飲食店(床面積500㎡以内) ・ホテル・旅館(床面積1,500㎡以内) ○店舗兼住宅 ・料理店・飲食店 (居住の用に供する部分は延べ面積の2分の1以内) (居住部分を道路に面した位置へ配置しない) ・ホテル・旅館 (その用途に供する部分の床面積1,500㎡以内) </td> </tr> <tr> <td>容積率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>建ぺい率</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>建築物の高さの最高限度</td> <td>9.0m以下(軒の高さ:7.0m以下) 2階以下(地下を設けてはならない)</td> </tr> </tbody> </table>		規制内容	地区計画導入後の規制内容	建築物の用途	○店舗 ・料理店・飲食店(床面積500㎡以内) ・ホテル・旅館(床面積1,500㎡以内) ○店舗兼住宅 ・料理店・飲食店 (居住の用に供する部分は延べ面積の2分の1以内) (居住部分を道路に面した位置へ配置しない) ・ホテル・旅館 (その用途に供する部分の床面積1,500㎡以内)	容積率	100%	建ぺい率	50%	建築物の高さの最高限度	9.0m以下(軒の高さ:7.0m以下) 2階以下(地下を設けてはならない)
規制内容	地区計画導入後の規制内容												
建築物の用途	○店舗 ・料理店・飲食店(床面積500㎡以内) ・ホテル・旅館(床面積1,500㎡以内) ○店舗兼住宅 ・料理店・飲食店 (居住の用に供する部分は延べ面積の2分の1以内) (居住部分を道路に面した位置へ配置しない) ・ホテル・旅館 (その用途に供する部分の床面積1,500㎡以内)												
容積率	100%												
建ぺい率	50%												
建築物の高さの最高限度	9.0m以下(軒の高さ:7.0m以下) 2階以下(地下を設けてはならない)												
【修景のイメージ】		【形態意匠の制限内容】											
修景前 		<ol style="list-style-type: none"> 湖畔に面する外壁及び屋根は、歴史的風致に調和したものとする 屋根は二方向以上の勾配屋根とし、原則として平入りの形状とする 道路に面した開口部にシャッターを設ける場合は閉鎖的なものを避ける 開口部には引き違いの木製格子戸、又はガラス戸の外側に木製格子を設ける ソーラーパネル等は設置してはならない 広告物の素材は自然素材を基本とし、南湖の歴史的風致を損なわないこと 											
修景後 													

評価軸②-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 景観計画では、小峰城跡・白河駅周辺地区と南湖公園周辺地区について、景観計画重点区域に指定し、建築物等の形態意匠や色彩・高さなどについて景観形成基準を設けており、将来的には都市計画法に基づく景観地区の指定を検討する。また、城下町地区については、景観計画推進区域に指定し、建築物等の高さ等の景観形成基準を設け、景観協定の導入等、住民との協働によるルールづくりを積極的に進めることを目指す地区としている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観条例及び景観計画に基づき、建築物や工作物等の新築、増改築等の行為に関して適正な規制及び誘導を行い、景観計画区域内の良好な景観形成に努めた。
 また、ぐるり白河文化遺産ツアーやまちづくり懇談会を通じて、これまでの景観まちづくりの取組状況の説明を実施したり、SNSを活用したおすすめ景観の募集や広報しらかわで投稿された写真を紹介するなど、景観に対する住民の意識醸成に努めた。
 ○令和7年度 景観法及び白河市景観条例に基づく届出件数:32件(重点区域2件、推進区域1件、景観計画区域29件)
 ※令和8年2月末現在

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観の形成には、そこで暮らす住民の理解と積極的な関わりが必要であることから、景観形成に対する、住民の意識醸成を図るための取組みを引き続き実施していく。

状況を示す写真や資料等



【秋のぐるり白河文化遺産ツアー】



【広報しらかわ(裏表紙)】



【ふるさと白河おすすめ景観(Instagram投稿例)】



【まちづくり懇談会(本町)】

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
屋外広告物について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容

屋外広告物については、屋外広告物法及び福島県屋外広告物条例に基づき無秩序な表示や設置を防ぐ美観・風致の維持、良好な景観形成への寄与等のため規制を行ってきたが、より白河市の実情に即した屋外広告物の規制・誘導を図るため、平成25年4月より、独自の屋外広告物条例の制定に向けた取り組みを進め、平成28年4月1日から「白河市屋外広告物等に関する条例」を施行した。

条例では、景観計画との整合性を図るため、計画に位置づけられている景観計画重点区域等(重点区域、推進区域(城下町地区)、南湖から那須連峰への眺望に影響のある新白河駅周辺地区)において、屋外広告物の面積、高さ、色彩等に市独自の許可基準を設け、屋外広告物の規制・誘導を図っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議に参加し、各自治体の担当者と様々な議題に対する意見交換を行った。また、福島県屋外広告物講習会及び福島県屋外広告美術協同組合白河支部会において、屋外広告事業者に対し市条例の概要説明を行い、取扱基準等の普及啓発に努めた。さらには、屋外広告物適正化旬間(毎年9月1日～9月10日)に併せ、広報紙・ホームページへの掲載や白河支部への協力依頼のほか、屋外広告物パトロール等により、屋外広告物法及び同法に基づく条例の普及啓発、違反屋外広告物に対する市民や企業の意識啓発に努めた。

○令和7年度白河市屋外広告物等に関する条例に基づく許可件数:141件(新規16件、更新106件、変更19件)
 ※令和8年2月末現在

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	老朽化した屋外広告物について広報紙やホームページ等により注意喚起を行いながら、定期的な安全点検の実施など、適切な維持管理を促していく。

状況を示す写真や資料等

令和7年度北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議 議題一覧

議題	ページ
(1) 許可基準①	
【議題1】 官公署等の敷地内における屋外広告物の掲出について	北海道 1
【議題2】 ガソリンスタンドのキャノピー(屋根)の下に表示される広告物の取扱いについて	秋田県 5
【議題3】 自動車に表示する広告物への対応について	仙台市 8
【議題4】 屋外広告物が規制されている地域等について	秋田市① 14
【議題5】 「管理用広告物」および「自己用広告物」の適用範囲について	福島市 18
(2) 許可基準②	
【議題6】 複合商業施設等の、道路から視認できない場所に掲出された屋外広告物について	郡山市 23
【議題7】 経過措置期間中の屋外広告物への対応方法について	山形市 26
【議題8】 屋外広告物の表示内容変更に係る申請について	北広島市① 31
【議題9】 簡易広告物の許可申請について	北広島市② 36
【議題10】 適用除外広告物の取扱いについて※	北広島市③ 41
【議題11】 屋外広告物の種類判断と表示面積の算出について※	北広島市④ 44
【議題12】 自動販売機に表示されている屋外広告物の取扱いについて	会津若松市① 49
(3) 実務対応	
【議題13】 屋外広告物の安全管理等に係る啓発活動について	青森県 53
【議題14】 屋外広告物講習会の告知方法及び講義内容について	岩手県 58
【議題15】 違反広告物の監視体制について	宮城県 62
【議題16】 屋外広告物パトロールについて	八戸市 67
【議題17】 店舗閉店後の広告物の取扱いについて	横手市 71
(4) 事務処理の効率化	
【議題18】 屋外広告物許可(更新)・変更申請の電子申請・電子交付、窓口でのオンライン決済の導入状況について	山形県 74
【議題19】 屋外広告物に係る各種通知の押印省略(事務処理効率化)について	福島県 78
【議題20】 屋外広告物許可申請書、屋外広告物登録申請書のオンライン申請等について	秋田市② 83
【議題21】 屋外広告物の許可台帳管理について	白河市 89
(5) ネーミングライツ等	
【議題22】 エリアマネジメント広告に対応した条例等の整備とその活用状況	旭川市 94
【議題23】 ネーミングライツの取扱いについて	青森市 97
【議題24】 ネーミングライツに関する屋外広告物の取扱いについて	盛岡市 100
【議題25】 ガイドサインの有無及び作成に要した費用、期間について	小樽市 104
【議題26】 交差点付近に設置されるデジタルサイネージの取扱いについて	会津若松市② 109

【看板照明について】

- 看板照明の設置により、看板の視認性の向上につながりますが、周辺環境に応じて、適切な明るさ、照明手法を設定する。
- 上方光害を抑えるための設えや配光制御が望ましい。

【デジタルサイネージについて】

- 輝度が高いものは、周辺環境に与える影響が大きいため、適切な輝度設定を行う。
- 激しい動きや過度な点滅を伴う演出を避けることが望ましい。
- 設置方法や明るさ、点灯時間などの具体的な基準や規制方法については、周辺環境への影響や安全性に配慮しながら、今後検討を行う。

【白河市光のマスタープラン】
看板照明やデジタルサイネージに関する検討

点検箇所	点検項目	広告物の現状	補修等の有無	維持管理・補修等の内容
点検箇所 ・ ・ ・	1 上部構造全体の傾斜、ぐらつき	良 不良	済 未	
	2 基礎のクラック、支柱と横金との隙間、支柱ぐらつき	良 不良	済 未	
	3 鉄骨のさび発生、塗装の老朽化	良 不良	済 未	
支持部	1 鉄骨接合部(溶接部・アール)の腐食、変形、隙間	良 不良	済 未	
	2 鉄骨接合部(ボルト、ワト、ビス)のゆるみ、欠落	良 不良	済 未	
取付部	1 アンカーボルト・取付部プレートの腐食、変形	良 不良	済 未	
	2 溶接部の劣化、コーキングの劣化等	良 不良	済 未	
広告板	3 取付対象部(柱・壁・スラブ)・取付部周辺の異音	良 不良	済 未	
	1 表示面板・切り文字等の腐食、破損、変形、ビス等の欠落	良 不良	済 未	
	2 側板、表示面板押さえの腐食、破損、おじれ、変形、欠損	良 不良	済 未	
点検箇所 ・ ・ ・	3 広告板底部の腐食、木栓さけの詰まり	良 不良	済 未	
	1 照明装置の下点灯、不発着	良 不良	済 未	
	2 照明装置の取付部の破損、変形、さび、漏水	良 不良	済 未	
その他	3 周辺機器の劣化、破損	良 不良	済 未	
	1 塗装、板止め棒、ワイヤー、その他付属部材の腐食、破損	良 不良	済 未	
	2 腐食防止の腐食、損傷	良 不良	済 未	
	3 その他点検した事項()	良 不良	済 未	

【北海道・東北ブロック屋外広告物行政担当者会議議題一覧】

【屋外広告物更新時点検項目】

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
歴史的まちなみ修景事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業(平成30年度～令和2年度)、都市再生整備計画関連事業(都市構造再編集集中支援事業)(令和3年度～令和9年度))、市単独事業

計画に記載している内容 良好なまちなみ景観の保全を図るため、景観計画に基づき「景観形成ガイドライン」を策定し、これに基づく建造物の修景等に対する支援を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成23年度に策定した「景観形成ガイドライン」に基づき、建造物の外観修景等に対する支援を実施した。
 ○対象エリア:景観形成ガイドラインAゾーン(景観計画画下町地区重点推進区域)、金屋町谷津田川せせらぎ通り景観協定区域、白河城下景観まちづくり協定区域、白河門前通り景観まちづくり協定区域、横町景観まちづくり協定区域、田町景観まちづくり協定区域
 ○令和7年度補助件数:1件(平成23年度からの累計43件)※令和8年2月末現在

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	当補助金の活用の推進を図りながら、歴史的なまちなみの形成に努めていく。
--	-------------------------------------

状況を示す写真や資料等

■建築物の新築(横町地区)



施工前



施工後

～景観まちづくり協定区域の皆様へ～

1.白河市景観まちづくり補助制度
 景観まちづくり協定を締結している区域において、良好な歴史的まちなみ景観の形成に配慮した建築物の新築、改築、修景などを行う場合、費用の一部を補助します。





補助の内容	対象事業	限度額(万円)	補助率
建築物	新築・増築・改築のうち外観に係る部分※	住宅、店舗、事務所、車庫、倉庫など	8.0
	外観の修景整備	欄干替え、色彩変更	8.0
建築設備、外構等の修景整備	空調や電気設備、自動販売機などへの遮へい及び門や柵などの設置		3.0

※景観協定区域内でも新築・増築に係る事業の対象にならない区域があります。

【注意事項】
 >区域内の主要な通りから見える一定範囲内の整備が対象となります
 >市の景観計画や景観形成ガイドラインへの適合が必要となります
 >建築基準法など関係法令への適合が必要となります
 >年度内(3月末まで)に完了する工事が対象となります
 >通常の維持管理行為などは対象となりません。(画面もご覧ください)

■景観まちづくり補助制度のチラシ

評価軸③-2 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目			現在の状況
歴史的風致形成建造物保存修景事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業(平成30年度～令和2年度)) 市単独事業(令和3～4年度) 都市構造再編集集中支援事業(令和5年度～)		
計画に記載している内容	歴史的なまちなみを形成する歴史的建造物の保全及び活用を図るため、歴史的風致形成建造物の所有者が行う建造物の修理又は修景に要する経費の一部を助成する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
NPO法人しらかわ建築サポートセンター(歴史的風致維持向上支援法人)との連携により、歴史的風致形成建造物の修理に対する支援を実施した。 ※事業費上限1,000千円うち1/2(市補助)500千円 市補助のうち1/2は国補助			
■令和7年度補助件数:2件2棟(勝軍地藏堂・奈良屋呉服店)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない		事業完了後も定期的に建造物の状態を確認し、メンテナンス等の相談支援を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【勝軍地藏堂】		【奈良屋呉服店】	
【施工前】		【施工前】	
			
【施工後】		【施工後】	

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和4年度
項目			現在の状況
市道城山線整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年(2016)度～令和4年(2022)度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金事業(都市再生整備計画事業)(平成30年～令和2年度) 都市再生整備計画関連事業(都市構造再編集集中支援事業)(令和3年度～令和4年度)		
計画に記載している内容	市道城山線は旧奥州街道と小峰城跡を結ぶ重要な路線であり、国道294号バイパスの整備完了に伴い交通量の増加が予想されている。また、当該路線は提灯まつりにおける神社神輿の巡行ルートや屋台・山車の運行ルートであるとともに、沿線には旧小峰城太鼓櫓など歴史的建造物もあり、歩行スペースの確保と拡幅整備により歴史的風致と調和した街路として改良する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度 L=380mを整備完了。 令和4年度 L=60mの整備完了。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
			
			
			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
無電柱化調査事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間 平成24年(2012)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 鹿嶋神社祭礼(白河提灯まつり)及び白河だるま市の運営支障や景観阻害の要因となっている旧奥州街道(市道奥州街道線)の電線・電柱類について、道路管理者・事業者等と無電柱化に関する調整を図りながら、現況及び整備手法等について調査・検討を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、令和6年度から行ってきた予備設計において、無電柱化方式や道路空間の再配分(車道幅員を狭くし、歩道幅員を拡幅する)の検討等を行いながら、沿線町内会と無電柱化についての懇談会を開催し、意見交換を行った結果、現況道路幅を維持する整備を検討していくこととなった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない

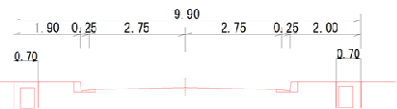
歩道空間内の障害となる地上機器の設置箇所、位置を検討しながら、道路拡幅を伴わない現況道路幅で整備していくことへの課題について、沿線の町内会や地域住民とともに、解決を図っていく。

状況を示す写真や資料等

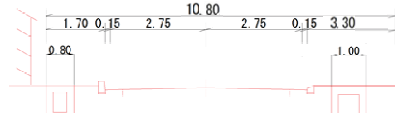
【奥州街道線 道路幅員現況調査結果】
【沿線町内会 まちづくり懇談会開催】



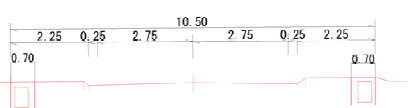
標準横断面図(中町:天神町側)



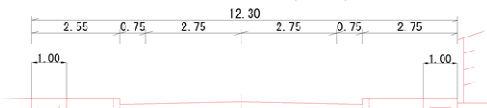
標準横断面図(中町:本町側)



標準横断面図(天神町)



標準横断面図(本町)



評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

景観学習事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------	---

事業期間 平成29年(2017)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 次世代を担う子供たちに「まち」や良好な「景観」に対して関心を持たせ、景観やまちづくりへの意識を高めてもらうことを目的として、小学生を対象とした景観学習事業を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の6つの小学校(計200人)を対象に、日本大学工学部建築学科住環境研究室の協力により、景観に関する講義やまち歩きを行い、グループレポートに取りまとめた。
完成したレポートは、市立図書館ロビーに1ヶ月間展示し、活動成果を広く周知した。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 今後も、大学、小学校、地元住民と協力体制を構築しながら、景観に関する意識醸成を図るため、継続して景観学習を実施していく。

状況を示す写真や資料等

■令和7年度景観学習日程

対象校	関辺小学校	白河第五小学校	釜子小学校	みさか小学校	白河第一小学校	大信小学校	
学年・児童数	5年生19名	6年生35名	4年生23名	4年生55名	5年生47名	4年生21名	
日程	1日目/講義・まち歩き	5月27日(火)	6月2日(月)	6月10日(火)	9月16日(火)	9月25日(木)	11月13日(木)
	2日目/レポート作成	6月5日(木)	6月16日(月)	6月24日(火)	10月2日(木)	10月6日(月)	-
	3日目/授業参観	-	-	-	-	11月6日(木)	-



【景観に関する講義(関辺小学校)】



【まち歩き(白河第一小学校)】



【レポート作成(白五小学校)】



【レポート展示(白河市立図書館)】

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和4年度
項目	現在の状況	
リノベーションまちづくり推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和2年(2020)度～令和4年(2022)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 重点区域内に集積している旧城下町の歴史的建造物の保存と活用が課題となっているため、空き家・空き店舗を積極的に活用する機会を創出する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

所有者に代わり空き家や空き店舗をリノベーションし、事業の創出やコミュニティの形成などエリアのマネジメントを行うまちづくり会社(家守)の育成を目的にセミナーや実践講座を開催した。
 実践講座には、地元の若手事業者やまちづくり会社、行政など5チーム23人が参加し、各チームが持ち込んだ事業計画のブラッシュアップを行い、最終日には地域住民に向けて、公開プレゼンテーションを行った。

【セミナー】

- テーマ:『まちの力を育む仕組み「家守」とは』
- 期 日: 令和4年10月12日(水)
- 場 所: 市立図書館りぶらん 地域交流会議室
- 講 師: 花巻家守舎 小友 康広氏、(株)ブルースタジオ 大島 芳彦氏
- 参加者: 51名(会場36名、オンライン15名)

【実践講座】

- 期 日: 令和4年10月30日(日)・11月12日(土)・13日(日) 3日間
- 講 師: (株)ブルースタジオ 大島 芳彦氏、(株)See Visions 東海林 諭宣氏
 花巻家守舎 小友 康広氏、北九州家守舎 遠矢 弘毅氏
- 参加者: 実践講座23名(5チーム) / 公開プレゼン聴講21名(会場18名、オンライン3名)

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

ワークショップで提案された歴史的建造物を活用したビジネスプランの事業化に向けた支援を行っていく。

状況を示す写真や資料等



【セミナーの様子】

【公開プレゼンテーション】

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
小峰城史跡整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年(2015)度～令和16年(2034)度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 本市のシンボルとして、史跡の価値をさらに高めるため、平成26(2014)年度に策定した『史跡小峰城跡整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、①本丸周辺の整備、②石垣修復、③東側丘陵の整備をそれぞれ進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

石垣を適切に保存・管理してゆくため、令和7年度は下記事業を実施した。

1. 石垣カルテ作成(53面:4,260㎡)
2. 石垣動態観測(14面:1,965㎡)
3. 石垣解体設計(東側丘陵地東端部)
4. 石垣補修工事(和党曲輪北東面)

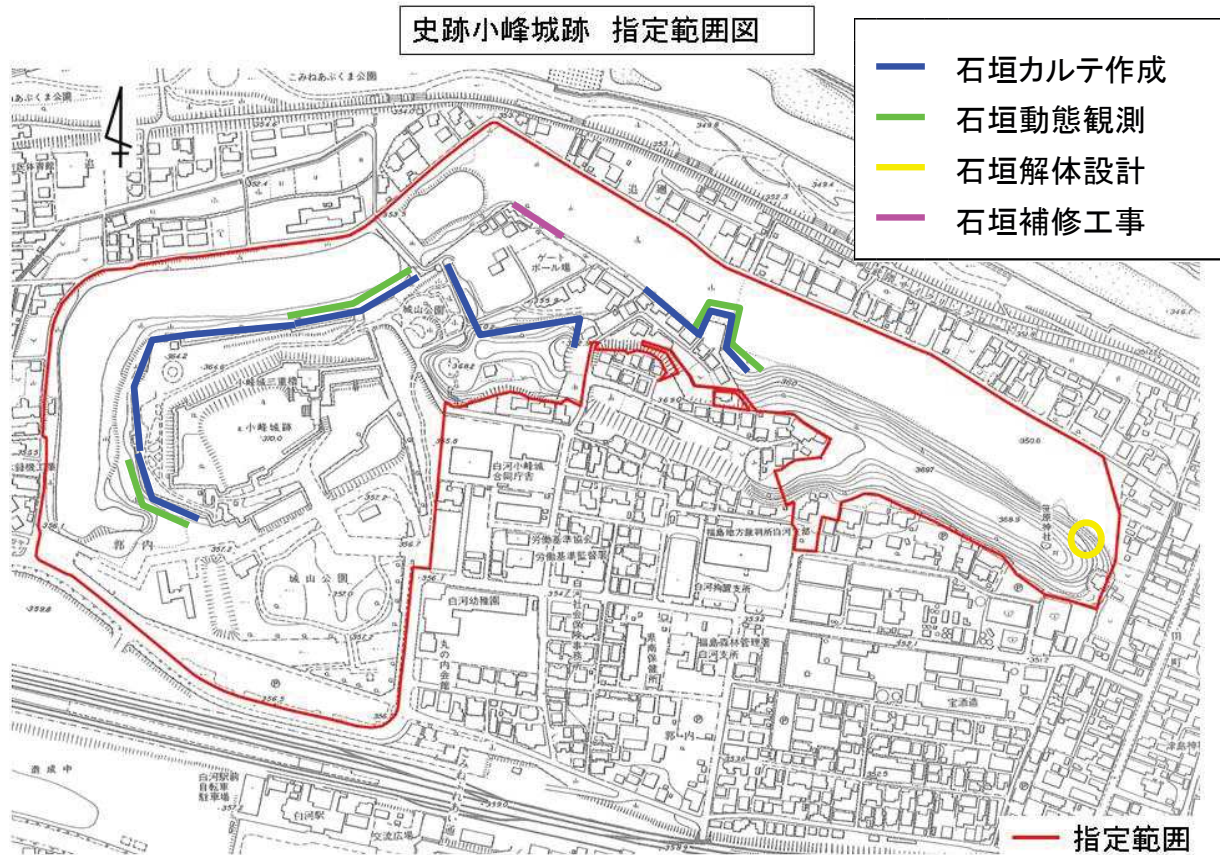
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

石垣は、現状保存を図ることを原則とし、維持・管理に努めながらも必要に応じた対応を図ることとする。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和4年度 現在の状況
旧小峰城太鼓櫓等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和元年(2019)度～令和4年(2022)度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(都市構造再編集集中支援事業)

計画に記載している内容
 旧小峰城太鼓櫓は、小峰城の建物群の中で唯一現存する貴重な建造物であるが、経年劣化および震災による影響により、保存状態の悪化が深刻化している。このため、旧小峰城太鼓櫓を解体移築し、国指定史跡小峰城跡と一体的に整備していくとともに、街なかの回遊性向上のため、公開・活用を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

今年度は、移築復元工事および環境整備(休憩棟新築、園路整備等)を実施した。また、8月より一般公開及び貸館を開始した。内部の一般公開は月2回行い、貸館では4件の利用があった。(1月27日時点)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も文化財の価値を継承しながら、より効果的なPRを行い、多くの方に見学・利用していただけるよう努める。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

小峰城清水門復元整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
--------------	--	---

事業期間 令和2年(2020)度～令和8年(2026)度

支援事業名 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 清水門は、小峰城の主郭部への入口に位置する大手門・前御門に並ぶ規模の門であり、その重要性から『史跡小峰城跡整備基本計画』において、復元対象と位置付けられている。
令和8年(2026)度の復元整備完了を目指す。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和7年度は、門本体は建て方、小屋組み、屋根瓦葺き、壁や床の下地工事。塀は基礎、建て方、瓦葺きを実施した。また、8月と11月に工事現場の一般公開を実施し、多くの来場者が訪れた。(8月:380名、11月370名)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和5年度から復元工事に着手し、令和8年度の完了を目指す。
--	-------------------------------

状況を示す写真や資料等



【清水門復元イメージ】



【建て方】



【一般公開の様子】



【屋根瓦葺き】

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	

南湖公園史跡整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
------------	---	--

事業期間 平成29年(2017)度～令和12年(2030)度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備事業(文化庁補助事業)

計画に記載している内容 史跡名勝としての価値をさらに高めるため、平成29年(2017)度に策定した『史跡名勝南湖公園整備基本計画』に基づき事業を実施する。具体的には、園路整備、水質および植生の改善を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

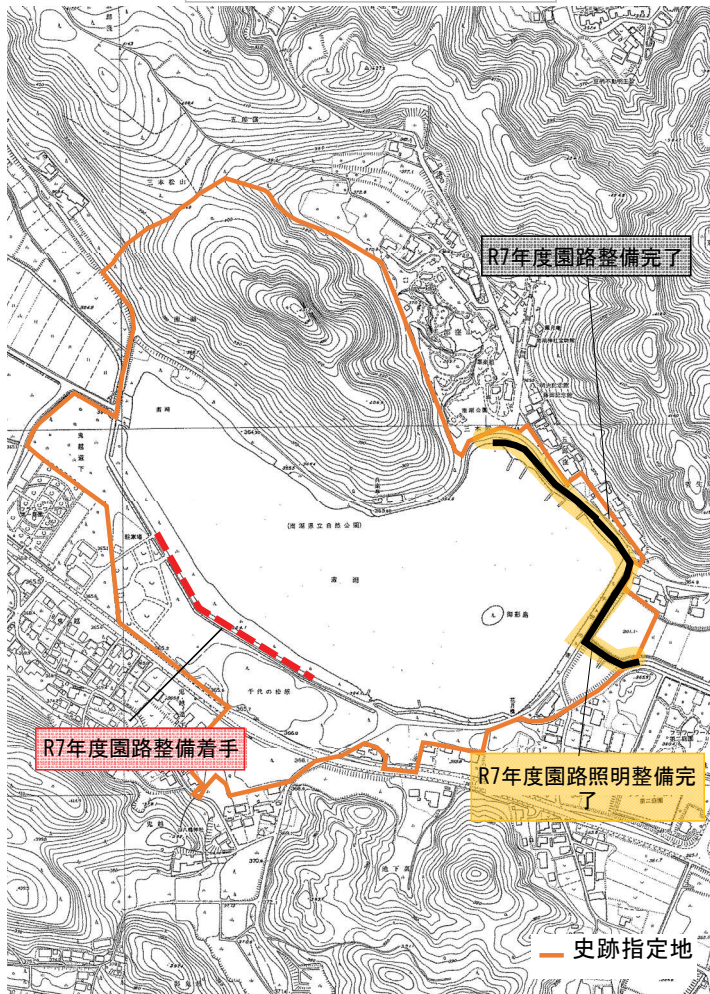
令和7年度は、来園者が快適に過ごせるよう北東部の園路および園路照明の整備を終え、南西側の園路整備および南東側、東側の園路についての実設計を行った。また、引き続き福島大学・日本大学との共同研究に取り組むとともに、研究成果を基に湖内の水生植物の管理手法の見直しや水質浄化策の検討を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	「史跡名勝南湖公園整備基本計画」に基づき、史跡名勝南湖公園整備指導委員会から助言を得ながら引き続き整備を行う。
--	---

状況を示す写真や資料等

令和7年度史跡整備範囲図



整備が完了した北東部の園路



整備が完了した園路照明
(ランタン照明とボール照明)



整備が完了した園路照明
(ポラード照明)

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
無形民俗文化財等記録作成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成23年(2011)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	地域に根差した民俗・芸能活動は、住民の生活の一部を形作っていたものであることから、現状での活動内容について、詳細な調査を行い、記録の保存を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
民俗・芸能活動について、活動内容の詳細な調査を行うとともに、写真・映像による活動内容の記録も行った。 ○令和7年度記録件数:16団体(平成23年度からの累計264団体)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後は記録映像の作成・公開などを検討する。		
状況を示す写真や資料等			
			
【本沼のどんど焼き(白河地域/7月20日)】		【犬神の如来様(表郷地域/6月27日)】	
			
【中新城の盆踊(大信地域/8月15日)】		【板倉の天道念仏(東地域/6月28日)】	

評価軸③-12
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
無形民俗文化財等支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年(2009)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 無形民俗文化財の保存団体等を対象に、必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら民俗芸能等に用いる用具類の新規購入や修繕、行事の実施公開に対して財政支援を行うとともに、本事業を周知し、支援団体の拡充を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

無形民俗文化財の保存団体の活動は、後継者不足等の理由により活動停止となる事例が増加しているため、申請に基づき調査を行い、道具等の補修・購入や活動の財政的支援を行った。今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策のため、行事を縮小して実施した団体についても、一部支援を行った。

○令和7年度支援件数: 14団体※見込(平成23年度からの累計187団体)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	各団体の要望を把握した上で、より効果的な支援となるよう努める。

状況を示す写真や資料等



【芳賀須内の虫干し神楽(白河地域/7月27日)】



【中ノ沢権現梵天祭(表郷地域/9月28日)】



【十日市の提灯祭り(大信地域/7月27日)】



【琴平神社の奉納相撲(東地域/10月5日)】

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
伝統的技術伝承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年(2012)度～令和12年(2030)度

支援事業名 民間事業(歴史的風致維持向上支援法人/NPO法人しらかわ建築サポートセンター)

計画に記載している内容 歴史的な建造物の修理等に際し、伝統工法に係る材料調達や職人不足の課題が浮き彫りとなったことから、地域の材料、地域の職人、地域固有の工法で修理する持続可能な修理システムを構築するため、モデル修理工事の実施や専門家を招いた研究会等を開催し、修理工法の開発や職人等の人材育成を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

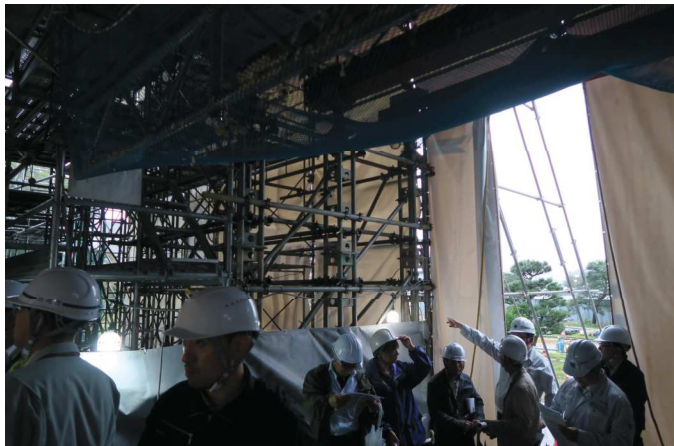
NPO法人しらかわ建築サポートセンターの主催により、復元工事中の清水門の工事現場を見学する研修会を実施した。

- 期 日: 令和7年10月16日(木)
- 場 所: 小峰城清水門復元工事現場
- 参加者: 20名(NPO法人しらかわ建築サポートセンター組合員、白河市)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	引き続き、専門家を招いた研究会を開催し、行政と連携しながらモデル的な歴史的建造物の修理・改修方法の実例を学んでいく。
--	--

状況を示す写真や資料等



【工事内容の説明を受ける参加者】



【瓦を葺く前の屋根】

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目	現在の状況	

白河の歴史・文化再発見事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	---

事業期間 令和3年(2021)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白河の歴史についての知識と見聞を広め、郷土の歴史への興味を喚起するとともに、自分の生まれ育ったまちを愛する心を育てるため、小学校1年生から中学校3年生を対象に、「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用しながら、白河の歴史や伝統文化等についての学習を体系的に行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

「白河歴史の手引き『れきしら』」を活用するなどし、白河の歴史や伝統文化について各学年ごとにテーマを設け、また各種文化団体や市文化財課学芸員等の協力を得ながら学習した。各校とも計画通りに実施することができた。そして、学習成果の情報発信活動に力を入れ、各校でHPに載せたり、小6の学習成果を市立図書館に掲示したりした。本年度はNHK大河ドラマ「べらぼう」とタイアップし、郷土の偉人・松平定信について学ぶ特別出前授業を全小学校の全学年で実施した。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 「出前授業」を事業の中に明確に位置付け、全小学校で実施する。このうち「松平定信」についてはR9年度より小2、小5、中2と、段階を踏んで学べるようにする(中2は文化財課担当)。「戊辰戦争」も、希望校だけでなくR8年度より全小学校6年生で行う。

状況を示す写真や資料等



【昔話を語る会】(小野田小)



【「べらぼう」特別出前授業】(大信小・高学年)



【「白河の戊辰を学ぶ」出前授業】(みさか小)



【茶道体験】(白河四小)



【「べらぼう」特別出前授業】(小田川小・中学年)



【小峰城見学】(白河二小)



【「べらぼう」特別出前授業】(白河一小・低学年)



【鈴木家住居見学】(白河五小)

R7 歴史文化再発見事業【実施状況】

小学校	事業名	対象校	実施校	中止等
1年	昔遊び体験	13	13	0
2年	昔話を語る会	13	13	0
3年	鈴木家住居見学(大信小以外の12校) 大信ふるさと文化伝承館見学(大信小)	13	13	0
4年	地域学習	13	13	0
5年	茶道体験 於:琴楽苑 11校 於:学校(茶道連盟) 2校	13	13	0
6年	小峰城・小峰城歴史館・中山義秀記念文学館見学	13	13	0
6年	白河の戊辰を学ぶ(出前授業)	(希望)	11	0
全学年	松平定信公を学ぶ(特別出前授業)	13	13	0
中学校	事業名	対象校	実施校	中止等
1年	白河の古代	7	7	0
2年	松平定信の業績	7	7	0
2年	白河の戊辰を学ぶ(出前授業)	(希望)	3	0
3年	しらかわの未来フォーラム	7	7	0

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
ぐるり白河文化遺産めぐり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年(2009)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧城下町のエリア等の歴史的風致維持向上計画の重点区域には、歴史的な街並みや寺・神社などの歴史的・文化的資源が多く残されている。こうした歴史・伝統・文化に触れながら街なかを回遊することで、地域資源の価値を再認識する機会を提供し、本市の魅力を広く発信する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

実行委員会の主催により、春と秋の2回実施した。
【春のイベント】
 南湖公園を一周し、ツーリズムガイドによる共楽亭や南湖十七景の解説や、南湖だんごの喫食など、南湖の魅力にふれあった。また南湖神社では、定信公と渋沢栄一にまつわる話を聴かせていただき、歴史の再発見となった。
 ■期 日: 令和7年5月24日(土)
 ■場 所: 南湖神社及び宝物館、蘿月庵、共楽亭ほか南湖公園を1周
 ■テーマ: 「南湖を満喫～定信公の歴史とともに～」
 ■参加者: 35名
【秋のイベント】
 小峰城歴史館では、特別企画展「松平定信の文化力」を館の学芸員による解説のもと見学した。太鼓櫓では、改修工事に携わった建築士による工事の説明がなされた。聯芳寺では、住職による説法と座禅体験を行い、心身を整えた。
 ■期 日: 令和7年11月7日(金)
 ■場 所: 小峰城歴史館、太鼓櫓、聯芳寺
 ■テーマ: 「お寺とお城をのんびりはしご散歩」
 ■参加者: 32名

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も関係各所と連携しながら、歴史的・文化的資源に着目した内容で、まちなかに残されている魅力の再発見につながる機会を提供していく。

状況を示す写真や資料等



【座禅を体験する参加者】



【太鼓櫓で説明を受ける参加者】

回覧

秋のぐるり白河文化遺産ツアー

『お寺とお城をのんびりはしご旅行』

聯芳寺

小峰城歴史館
特別企画展
松平定信の文化力

太鼓櫓

参加料 お一人
¥500

電話でお申し込み
0248-28-5533
(白河市まちづくり推進課)

▶日 時 令和7年11月7日(金) 午前9時～正午
 ▶集合場所 小峰城歴史館入口前
 ▶訪問場所 聯芳寺(向寺)、小峰城歴史館
 ▶定 員 40名(事前予約制・先着順)

みどころ

- ・ 聯芳寺では、座禅を体験できます。
- ・ 小峰城歴史館では、定信公の企画展の解説をします。
- ・ 改修に携わった建築士による、太鼓櫓の説明があります。
- ・ ツーリズムガイドがまちなかの案内をします。
- ・ 3km程歩きます。動きやすい服装でお越しください。
- ・ 小雨決行ですので、雨具をご準備ください。

白河市健康ポイント対象事業

主催：ぐるり白河文化遺産めぐり実行委員会

【参加者募集のチラシ(秋のツアー)】

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況
しらかわ検定事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成28年(2016)度～令和12年(2030)度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市の歴史と伝統に対する正しい理解と郷土愛の醸成を図るとともに、市内外に広く本市の魅力を発信するため、白河歴史の手引き「れきしら」の内容から出題する「しらかわ検定」を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

ご当地検定である第9回「しらかわ検定」を開催した。
 問題は「れきしら」から出題され、受験者にとっては本市の歴史を深く学習する契機となっている。
 最年少受験者は10歳(3級)、最高齢は78歳(2級)と幅広い年代が挑戦した。※受験者数は初年度(H28年度)から数えて1,200名を超えた。また、小学生5・6年生を対象に「なつやすみ！白河たんけんクイズ」を実施した。
 ※しらかわ検定 ※なつやすみ！白河たんけんクイズ
 ■日 時: 令和7年7月21日(日) ■期間: 夏休み期間
 ■会 場: 白河市役所正庁 ■方法: 問題配布(れきしらから5問・まちあるき5問)
 ■時 間: 11:10～(3級)、13:30～(2級)、15:00～(1級) ■対象者 959名
 ■受験者: 3級46名、2級33名、1級14名(うち再受験者5名) ■回答者 407名(42.4%)
 ■合格者: 3級27名、2級12名、1級3名(うち再受験者2名)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

自ら進んで学ぶ機会を提供するため、興味深い内容の問題を作成し、積極的な周知活動を行い、しらかわ検定の継続開催に努める。

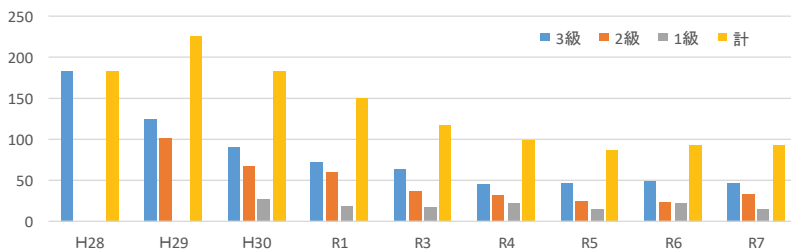
状況を示す写真や資料等

【受験者数の推移】

受験者数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	合計
	H28	H29	H30	R1	R3	R4	R5	R6	R7	
3級	182	124	90	71	63	44	47	48	46	715
2級	0	101	66	60	36	32	25	23	33	376
1級	0	0	27	18	17	22	15	22	14	135
計	182	225	183	149	116	98	87	93	93	1,226

受験者数(人)

受験者推移



【参加者募集のポスター】

第9回 しらかわ検定

しらかわ検定は、白河市の歴史と伝統に関するご当地検定です。
 みちのく白河の魅力を再発見できるよう、白河歴史の手引き「れきしら」をもとに、選りすぐりの問題を出題します。

開催期日 令和7年7月27日(日)
試験会場 白河市役所(5階・正庁)
 (JR白河駅下車、徒歩7分)
試験種別 1級、2級、3級
受験料 無料
申込期間 5月1日(木)～6月30日(月)

*実施内容の詳細については、裏面をご覧ください。

なつやすみ!
白河たんけんクイズ

～クイズにチャレンジするみなさんへ～
 このクイズは、みなさんが住んでいるまちを知るきっかけになることを目的に作りました。
 夏休みの宿題ではありませんので、家族や友達と楽しみながらチャレンジしてみてください。
 みなさんの参加をお待ちしています！(自由参加)

進め方
 ①第1問～第5問は、『れきしら(入門編)』から答えを探しましょう。
 ②第6問～第10問は、その場所に答えを探しに行ってみよう！面白い発見があるかも！
 ③夏休みが終わったら、解答用紙を学校に提出してください。
 参加してくれた人全員に、オリジナルクリアファイルをお届けします。
 ※クリアファイルは10月に解答用紙をお返しします。(9月予定)

問題には、**ヒント** が書いてあるよ。それを使って答えを探してみよう！

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況

白河かるた普及事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
-----------	---

事業期間	令和3年(2021)度～令和12年(2030)度
------	--------------------------

支援事業名	市単独事業
-------	-------

計画に記載している内容	白河を代表する様々な事象を詠んだ「いろはかるた」を作成し、子どもたちが見て・触れて・遊ぶことで、地域固有の歴史・伝統・文化などへの理解を深めるとともに、世代間交流を通して、子どもたちの郷土愛の醸成を図る。
-------------	--

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
 令和7年度は、出前講座や原画展を実施し白河かるたの周知と振興に取り組んだほか、第3回の大会を開催した。

- 白河かるたの販売 市内事業所15ヶ所で販売。
- 白河かるた出前講座の実施
 令和7年7月5日(白河第5小学校)、7月23日(こたがわ児童クラブ) 令和8年3月1日(中田子ども会)
- 白河かるたPR動画作成(12月完成) ダルライザーと一緒に「白河かるた」を覚えよう!
- 白河かるた原画展の開催
 令和7年12月3日～令和8年1月7日 東文化センター 令和8年2月2日～令和8年2月14日 コミネス
- 第3回白河かるた大会の開催
 日時:令和8年2月14日(土)
 場所:コミネス小ホール
 参加者:市内の小学生 低学年(1～3年生)8チーム 23名 高学年(4～6年生)10チーム 30名

	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	多くの子どもたちに、「白河かるた」の楽しさを知ってもらうため、小学校等で出前講座を実施し、普及啓発活動に取り組むとともに、小学生を対象とした、かるた大会を開催する。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和7年度 現在の状況
勸工場跡地と旧脇本陣蔵座敷の空間整備事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年(2022)度～令和12年(2030)度		
支援事業名	都市構造再編集中支援事業		
計画に記載している内容	勸工場跡地を、本町エリアの賑わい創出機能などを備えた歴史まちづくりの重要な拠点として位置付けるとともに、次世代へ継承すべき魅力ある空間とするため整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度	: 勸工場跡地の利活用調査(WSの開催(3回)、空間整備についてイメージを共有)		
令和5年度	: 実施設計および整備工事に向けた景観検証 旧脇本陣敷地(北側隣接地)の用地取得		
令和6年度	: 屋外空間整備活用の社会実験の実施 実施設計の作成		
令和7年度～	: 勸工場跡地や脇本陣蔵座敷、拡張した土地を含めた一体的な活用の検討		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	拡張した土地を含め一体的な活用を検討していく。		

状況を示す写真や資料等



【モルック教室による活用】



【かるた体験会による活用】

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
よみがえれ！歴史的建造物活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和5年(2023)度～令和9年(2027)度

支援事業名 新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)

計画に記載している内容 歴史的建造物は老朽化や土地の売却等により、取り壊されるケースもあり、単に保存するだけでなく、その活用を図り、後世に引き継いでいく必要がある。このためNIPPONIA事業を手掛ける㈱NOTEと連携し、城下町エリアに面的な回遊性を生み出す歴史まちづくりに取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

■白河市における歴史的資源を活用したまちづくり体制支援業務
歴史的建造物を利活用することにより、まちに賑わいを創出し、城下町全体への回遊性を面的に広げ、地域の活性化につなげるため、官民連携による具体的手法の検討及び活用運営体制の組成支援等を行った。

●期間: 令和7年5月26日～令和8年3月31日

■大木家住宅建造物群改修基本設計業務
大木家住宅建造物群の利活用に向けた基本設計

●期間: 令和7年6月20日～令和8年3月31日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

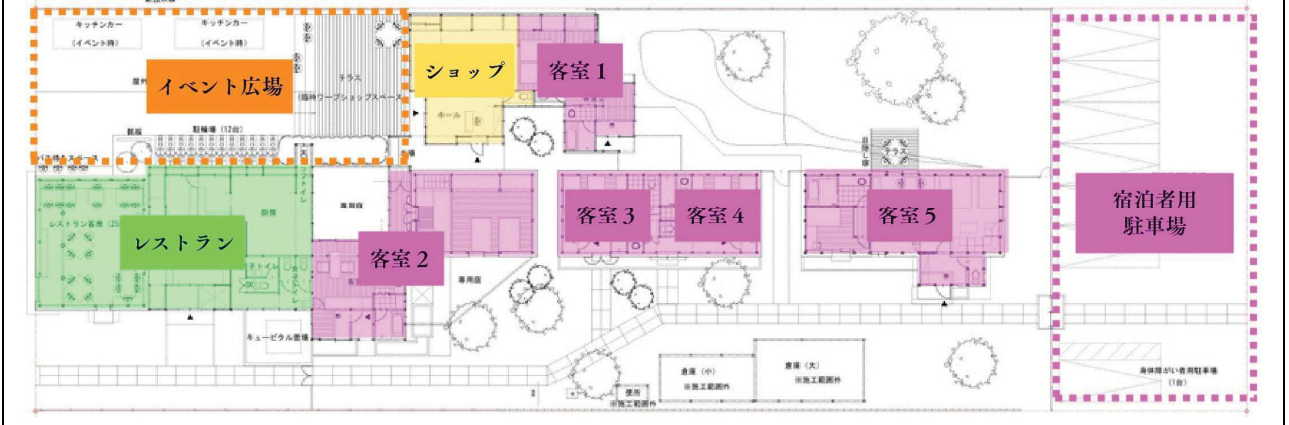
■計画どおり進捗している
□計画どおり進捗していない
大木家住宅建造物群のみの活用にとどまらず、これをモデルケースとして城下町エリアをはじめとする歴史的風致維持向上計画に定める重点区域全体に賑わいを作り出し、回遊性を高めていく。

状況を示す写真や資料等



【大木家住宅建造物群 外観】

※活用イメージ(今後変更となる可能性があります)



評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
地域伝統行事保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和6年(2024)度～令和12年(2030)度

支援事業名 地域文化財総合活用推進事業

計画に記載している内容 本市の歴史的風致を形成する伝統行事の一つである白河提灯まつりは、約360年にわたり本市を代表する祭礼として、城下町エリア内の町内を基礎単位として継承されている。各町内が保有する山車のなかには、老朽化が進み、安全な祭礼維持に支障が出ているものもあるため、文化庁の地域文化財総合活用推進事業を活用しながら山車等を修繕し次世代へ継承していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

■令和7年度実施事業者なし。

令和6年度事業実施者(中町町内会)による、修繕した山車のお披露目会が実施された。

令和8年度の事業実施者を募集し、提灯祭り実行委員会から提灯祭りで使用する手持ち提灯の新調要望があったため、令和8年度事業実施に向けて、応募書類の提出を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)



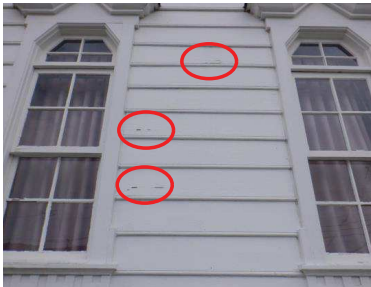
■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

各町内ごとに山車の状況等が異なるため、本事業をどのように多くの町内に取り組んでもらうかが課題。

状況を示す写真や資料等



【中町山車のお披露目会の様子】

評価軸④-1 文化財の保存又は活用に関する事項		評価対象年度	令和7年度
項目		現在の状況	
文化財の修理(整備を含む)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	文化財の状況を常に把握した上で、法令に基づき適切な保存を図るとともに、計画的な修繕・整備を行う。また、専門的な指導・助言を得ながら、文化財が持つ歴史的価値の保持に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
下記のとおり補助事業を活用し、修繕を行った。 ①国指定重要文化財「天王山遺跡出土品」の修復 ②国指定重要文化財「白河結城家文書」の修復 ③県指定重要文化財「白河ハリストス正教会聖堂」の外壁塗装及び基礎石表面剥離の修繕。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の修繕にあたっては、修繕方法について検討し、文化財の価値を減じないように行う。		
状況を示す写真や資料等			
<p>【施行前】</p> <p>①天王山遺跡出土品</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em;">⇒</div>  <div style="margin-left: 20px;">【修復中】</div> </div> <p>②白河結城家文書</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em;">⇒</div>  </div> <p>③白河ハリストス正教会聖堂</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin: 0 20px; font-size: 2em;">⇒</div>  </div>			

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財の保存・活用を行うための施設	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容 文化財の保存・活用を行うための施設として、歴史民俗資料館、小峰城歴史館(旧・白河集古苑)を設置しており、収蔵史資料の調査分析、保存及び公開を行っている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史民俗資料館では、白河の歴史と文化を通史的に学ぶことができる常設展を開催している。小峰城歴史館では、白河市合併20周年記念特別企画展「松平定信の文化力」を開催したほか、ロビーにて観光課による「大河ドラマべらぼう」展も開催した。また、常設展においては両館とも定期的に展示替えを行い、歴史資料・美術工芸資料の公開・活用に努めた。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	小峰城歴史館は、市の文化財に関する情報発信の拠点として、引き続き効果的な事業を実施する。 また、施設の老朽化が進行している歴史民俗資料館については、順次改修を検討・実施する。

状況を示す写真や資料等

■歴史民俗資料館(中田7-1)

○来館者数/1,733人(令和8年2月28日現在)

○平常展示「白河の歴史と文化」(4/1~3/31)



【歴史民俗資料館 平常展示「白河の歴史と文化」】

■小峰城歴史館(郭内1-73)

○来館者数/22,243人(令和8年2月28日現在)

【展示室1】

○「小峰城ガイド展示」「小峰城VRシアター」(4/1~3/31)

【展示室2・3】

○「小峰城の歴代城主と美術」(4/1~8/31)

○白河市合併20周年記念特別企画展「松平定信の文化力」(9/13~11/9)



【特別企画展「松平定信の文化力」】

○「小峰城の歴代城主と美術」(11/22~3/31)

※閉室/展示替え(9/1~9/12、11/10~21)

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度 現在の状況
文化財の防災		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財防火デーに併せた火災防御訓練の実施や訓練への住民参加に積極的に取り組み、所有者のみならず周辺住民の文化財防災に関する意識向上を図る。
 また、盗難に対する施設内の設備の現状確認を実施し、盗難予防に対する意識付けを強化していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財防火デーに併せ、市指定天然記念物「乙姫桜」において、令和8年1月25日に放水訓練等の火災防御訓練を実施し、約80名が参加した。

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域に所在する文化財の保護及び防災意識向上のため、地域住民と連携して、防火体制を確認する「文化財防火デー火災防御訓練」を引き続き実施する。

状況を示す写真や資料等

■文化財火災防御訓練

1. 日時: 令和8年1月25日(日) 午前9時～
2. 場所: 妙閑寺(白河市金屋町)
3. 対象: 市指定天然記念物 乙姫桜
4. 訓練内容
 - ①通報訓練 ②放水訓練 ③水消火器訓練 ④消防設備の点検
5. 参加者
 - ①白河消防署 ②白河市白河方面隊第1分団 ③地元町内会 ④白河市



【地元消防団による放水訓練】



【住民参加の消火器取り扱い訓練】

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和7年度
	現在の状況	
文化財の保存及び活用の普及・啓発		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財を広く市民へ公開し、文化財保護精神の普及・啓発を図るため、ホームページを通じて指定文化財を分かりやすく紹介するほか、文化財の誘導・説明板の設置を進める。
 また、出前講座や各団体の学習会等に積極的に講師派遣を行うなど、文化財に対する知識・理解の高揚に努める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財の説明板については、新規設置や改修を計画的に実施しており、令和7年度は1件の改修を実施した。
 また、「歴史民俗資料館講座」の開催や、各所依頼による出前講座など、白河の歴史・文化についての普及事業を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	これまでの実績をふまえ、より有効な手段を検討しつつ、文化財に関する情報発信を継続的に実施する。

状況を示す写真や資料等

■文化財説明看板の更新

件数:1件

①たらようの木(市指定:東深仁井田字千代ノ岡)



【文化財説明看板の更新】
(たらようの木)

■講座・見学等への講師派遣

件数:6件

- ①「松平定信の基礎知識」(令和7年度福島県ユネスコ活動研究協議会兼東北プロ研福島大会in白河第5回実行委員会、6/23)
- ②「松平定信の人と政治」(第64回福島県芸術祭川柳大会白河/第7回白河市民川柳大会、9/18)
- ③「受苦図について」(常宣寺、10/19)
- ④「白河のまちなみの歴史」(大信公民館、11/28)
- ⑤牧之原市市制施行20周年記念式典
第2部記念トークショー「田沼意次VS松平定信～その真実は～」
(静岡県牧之原市 R8 1/12)
- ⑥発掘調査でわかった白河の歴史(高齢者サロン R8 1/23)



【歴史民俗資料館講座(民俗講座)】

■歴史民俗資料館講座

- (1)古文書講座(古文書でみる松平定信)受講者数:40人
開催日:(全5回)12/13、1/10・24、2/7・21
- (2)美術講座(松平定信の文化力)受講者数:31人
開催日:(全5回)12/18、1/8・22、2/5・19
- (3)民俗講座(白河地域の人びとの暮らし)受講者数:21人
開催日:(全3回)12/21、1/18、2/15

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度 令和7年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
白河提灯まつり・中町山車 修復作業終え お披露目	令和7年5月14日	福島民報
松平定信楽しく学ぼう 白河市教委、9月まで全小学校で授業	令和7年7月2日	福島民報
大河「べらぼう」展 開幕 白河 衣装や小道具並ぶ	令和7年8月20日	福島民報
大河「べらぼう」展 開幕 白河 寺田心さん着用衣装展示	令和7年8月20日	福島民友
松平定信公の功績理解 白河で開幕の「べらぼう」展	令和7年8月21日	福島民報
大河ゆかりの特産フェア (二ノ丸茶屋)	令和7年8月22日	福島民友
白河の小峰城跡 復元工事中の清水門公開	令和7年8月25日	福島民友
小峰城跡清水門を公開	令和7年8月26日	福島民報
白河「一石城主」目標を達成 清水門復元寄付1.5億円超に	令和7年8月27日	福島民友
文化人・松平定信 浮き彫り 企画展開幕	令和7年9月15日	福島民報
松平定信、文化人の顔も 書画や文芸作品 白河で展示	令和7年9月19日	福島民友
2027年3月完成へ上棟式 小峰城跡清水門 工事の安全祈る	令和7年9月29日	福島民報
清水門完成、26年度末に 復元へ上棟式	令和7年9月29日	福島民友
復元へ期待 鏡割り 白河・小峰城跡の清水門上棟式	令和7年9月30日	福島民友
生誕150周年結城素明 厳選日本画30点展示 藤田記念博物館	令和7年10月7日	福島民友
聯芳寺と小峰城巡り歴史を学ぼう 秋のぐるり白河文化遺産ツアー	令和7年10月10日	福島民報
「べらぼう」の場面思ふ 「べらぼう～薫重栄華乃夢嘶～」展	令和7年10月18日	福島民報
傷つくたび 力強く復活 空飛ぶカメラ 小峰城跡	令和7年10月27日	福島民友
松平定信の新衣装展示 白河「べらぼう」展 12月7日まで	令和7年10月30日	福島民友
W定信「里帰り」700人出迎え 大河ドラマ「べらぼう」トークショー	令和7年11月2日	福島民友
定信の功績語り合う 大河ドラマに合わせ	令和7年11月3日	福島民友
松平定信公の半生学ぶ歴史フォーラム	令和7年11月4日	福島民報
大河ドラマ「べらぼう」松平定信役 思いや撮影秘話語る	令和7年11月9日	福島民報
白河で市民向けシンポジウム 南湖の水環境考える	令和8年1月27日	福島民報
福を求め 白河だるま市	令和8年2月12日	福島民友
伝統行事「白河だるま市」縁起物求め人の波	令和8年2月13日	福島民報
白河かるた大会	令和8年2月16日	福島民報
白河かるた大会 18チーム熱戦	令和8年2月25日	福島民友
県指定文化財に3件 県審議会が答申	令和8年3月14日	福島民友
安珍・清姫の冥福祈る 東北中1年生が念仏踊り奉納	令和8年3月28日	福島民報
提灯祭り歴史学ぶ 祭礼の起源や行列経路	令和8年3月30日	福島民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

--	--

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響あり <input type="checkbox"/> 計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

--

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和7年度
法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 白河市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和8年3月18日	
(コメントの概要)	
<p>①南湖公園整備について、南湖の歴史などを南湖エリアで一括して学べる施設があってもよいのではないかと。</p> <p>②ぐるり白河文化遺産めぐり事業について、民俗芸能活動を見るツアーはできないかと。</p>	
(今後の対応方針)	
<p>①南湖のすばらしさ、価値を伝える施設が必要だと認識しており、整備について検討している。</p> <p>②ツアーと民俗芸能活動の日程を確認しながら検討する。</p>	